

講演 続・田辺聖子と『源氏物語』

—美しい「私訳」から奇想天外なパロディまで—



田辺聖子 著『新源氏物語(上)(中)(下)』(新潮文庫刊)

田辺聖子は『源氏物語』を何度も現代小説に書き換えました。講演では、雅な王朝小説『新源氏物語』と奇想天外なパロディ『私本・源氏物語』とを比較しつつ田辺源氏の面白さを読み解きます。一昨年、好評だった講演の続編として、田辺聖子文学館 館長の中周子さんがお話します。



中周子さん

大阪樟蔭女子大学 名誉教授
田辺聖子文学館 館長
(言語文化学博士)

3月7日(土) 14:00
(開場 13:30)

会場：伊丹市立図書館 ことば蔵 地下1階 多目的室1
定員：50人
参加費：無料
参加方法：電話・直接来館で要申し込み
(1階受付カウンターにて)

専門は日本文学。共著に『和歌文学大系紫式部集』(明治書院、2000年刊)、最近の論文に「田辺聖子『源氏物語』の方法」(『樟蔭国文学』2024年3月号)、解説に『田辺聖子の万葉散歩』(中公文庫、2023年刊)など。

主催・お問い合わせ・お申込み

伊丹市立図書館 ことば蔵

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前3丁目7番4号
TEL (072) 784-8170 (交流事業担当)

月曜日休館 ※第1木曜日(図書整理日)は2・3階はご利用いただけません。
当館には駐車場はございません。
ご来館には電車・バス等をご利用ください。(JR・阪急伊丹駅より徒歩12分)
*身障者用駐車スペースのご利用につきましてはお問い合わせくださいませ。

